

法律士業のためのコロナメンタル支援ヒント集⑦

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・「受け止めるためにどのように聞くか・その③」

相談を受け止めるためのコツ。本日はその③です。

③確認

相談を受けるとき、必要な要素の一つに「確認」があります。

Point :

- ①疑問と思ったことは早めに聞きます。後々になると修正が大変な上、相談者からすれば「今までの時間はなんだったのか」ということになります
- ②確認を行うときに「枕詞」を付けると相手に対してソフトに伝わります。話に竿を刺すことになるので、丁寧な対応を心がけます。
例えば・・「もし間違っていたら教えていただきたいのですが・・」
「こんなことを言って失礼だとは思いますが・・」

悪い例)

相談者：「えっと、、 すいません、、 こんなぎりぎりの時間に押しかけて」

相談受：「いえいえ、まあどうぞ。どんなことで？初めての相談ですか？」

相談者：「はい、まさか自分が仕事を失うなんて、、 こんなときに、、」

相談受：「ああ、こんなときだからなおさらね。で、どうしたいの？あっせん」

相談者：「は？？あっせん・・？」

相談者：「ええっと、ここに様式はあるから。注意するのは金額を書くことと、あとはほかに頼んでいる？労組とか？」

相談者：「えっと・・あ、、 あの、、」

相談受：「ああ、そんな暗い顔して、わかるよ、気持ち。でもさ、こういうことは忘れないとね。どんな仕事なの？小さい会社？すぐにやられるよねえ、直撃だ。ま、経営者よりいいんじゃないの？」

相談者：「あなたね、いい加減にしてくださいよ！僕はフリーの医師で複数の病院と委任契約しているですよ。あなた、ちゃんと仕事やっているんですか？」

相談受：「な、、なに！若いくせに！そんなら労働者じゃないだろう！医者のかせにそんなことも・・」

相談者：「わからないから労働者性を聞きに来たんですよ！」

良い例)

相談者：「えっと、、すみません、、こんなぎりぎりの時間に押しかけて」

相談受：「はい、どうぞ。どんなことでしょうか？初めての相談ですか？」

相談者：「はい、まさか自分が仕事を失うなんて、、こんなときに、、」

相談者：「失礼ですが、お仕事を聞いてもよろしいですか？」

相談者：「はい、医師をしています」

相談受：「お医者様ですね。言にくいことかもしれませんが“お仕事を失った”というのう
はいつごろでしょうか？」

相談者：「はい、今年に入ってですね。僕は複数の病院と契約をしている麻酔医なんです。
ところが、トラブルに巻き込まれて、次々に契約を切られました」

相談受：「それは大変、、。もし間違っていたら教えていただきたいのですが、複数の病院と
契約、というと委任契約でしょうか？」

相談者：「そこなんですよ、委任といいながら時間は管理されているし、指揮命令もあった。
これは労働者かな、と疑問に思いまして。病院にぶついたらいきなり契約解除です。
こんな情勢のときに現場を何だと思っているのか・・・」

相談受：「ということは、ここで労働者性を確認したい、ということよろしいでしょうか？」

相談者：「はい、そうなんです。お願いできますでしょうか？」

☆☆☆

文責：中條幸子（公認心理師・社会保険労務士）

☆☆☆少しでも皆様の日々の対応にお役に立てれば幸いです。随時、情報を出していきます

☆☆☆